

「明日へ！神戸」
労働大臣杯 全日本実業柔道団体対抗大会報告書
争奪第48回

明日へ！神戸 労働大臣杯争奪第48回全日本実業柔道団体対抗大会は5月30日（31日の両日、神戸市須磨区緑台（神戸総合運動公園内）のグリーンアリーナ神戸に男子105チーム（1〜3部）735人、女子16チーム（1〜2部）95人の計121チーム、830人を集めて盛況を極めた。昨年から採用した国際ルールをさらに徹底するための審判講習会（29日実施）も一つの進歩を見せた。

初日は男子第二部（27チーム）で前年ベスト8止まりだったセコムが新日鐵広畑を3―1で降し、初優勝を遂げた。女子第二部（11チーム）では大阪府警が肥後銀行に3―0と快勝し、2年ぶり2度目。

最終日の男子第一部（11チーム）は2年連続15度目となった新日本製鐵―旭化成工業の対決で、両者譲らず2―2の同点で大将戦を迎えた。ここでオリンピックック金メダリスト吉田秀彦がライバル中村佳央から効果を奪い、新日鐵3―2と大激戦にピリオドを打ち、2年ぶり通算28度目の優勝旗を手にした。

同第三部（67チーム）はダイコロAが3―1で日柔整請求サービズ連盟を振り切って初優勝。

花形をそろえた女子第一部（5チーム）総当たり戦は、ミキハウスがダイコロに先取点を奪われながら大将戦の一本勝ちで①―1の内容勝ちを収め、4戦全勝で前年の雪辱を遂げ、2年ぶり通算6度目の栄光に輝いた。

恒例の平成9年度年間最優秀選手は初日の開会式で、永野重雄杯が全日本柔道選手権大会優勝の金野潤五段（総合警備保障）に、宮崎輝杯が世界柔道選手権大会56kg級3位の立野千代里三段（ミキハウス）に贈られた。



開会式であいさつする齋藤 裕会長



平成9年度最優秀選手賞を受賞した金野 潤・立野千代里両選手



試合会場（グリーンアリーナ神戸）

男子 第一部

互いに一本取りに行く壮烈戦 新日鐵2年ぶり28度目

壮烈な試合内容だった。

最初から一本を取り合って大激戦で火ぶたを切った。問題は旭化成の中堅がパリ世界選手権大会事実上の勝者、ついに全日本チャンピオンとなり期待にこたえた巨豪案原であることだ。前年も同じ理由があったが、今季の案原は別人に成長している。このため新日鐵はスタートから1つの取りこぼしも許されない。鉄は一丸となり、火の玉と化した。先鋒湊谷は「指導」を取る積極攻撃から追いかけて、袖釣込腰をあざやかに決めた。続いて次鋒養父は下出の大外刈で「効果」を取られながらも右大外刈で

「有効」を取り返し、払腰で「技有」そのまま抑え込んで「効果」さらに攻撃の手を休めず払腰で「技有」の一本勝ちは応援団を熱狂させた。このストレートの2点は大きい。

中堅戦の案原と増地も最後までほとんど勝負の行方が分からなかった。互いに左同士。190cmに対し、186cmの増地はいささかのひけも見せなかった。左でガバツと（そういう音がした）案原の奥えりを取り、引き付けると「そうだ、行け！」の歓声が拳がる。案原これを嫌って首を抜くが5秒以内の攻撃に移らないため、消極性が加算されて「注意」となる。



決勝戦 吉田が中村に内股で効果優勢勝

勢いづいた増地、またも左の奥えりをガバツ。その直後、事態はドンデン返し。増地の出ばな。案原、支え釣込足いっせん、これが決まって見事な一本、残り僅かに30秒であった。旭化成が2-1で詰め寄る副将戦もテクニシャン田辺が

「効果」2を取られながら、岡泉弟まことに不注意な「注意」の反則1で形勢逆転。たとえば岡泉が効果を10取っているも、片えりの守勢一度の注意で負けになるルール。審判講習会（別掲）で上村氏が強化の立ち場で力説したばかり。これで2-2の

同点だが、まだ内容は新日鐵に分がある。大将戦——。中村が吉田に襲いかかる。この一戦に勝たざれば負けである。吉田は激しい動きの中で左ひじを痛めたらしい。まだ残り時間は2分10秒もある。だが吉田はそれから左内股で「効果」を取り、寝技の攻防は無情の時間経過、残り47秒しかない。突つかかる中村、払いのける吉田。組まなければ試合にならない。ついに「それまで」と小林次雄主審の大きな声。吉田は小さくガツポーズを取った。



2年ぶり優勝の新日鐵チーム

全員が「取り」に行つた

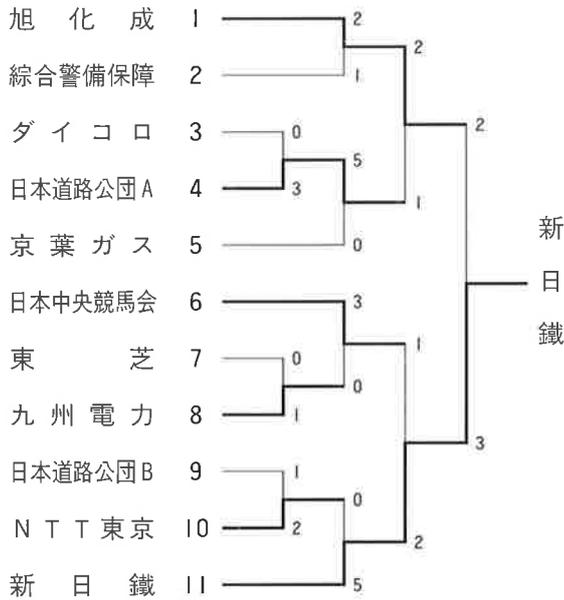
■優勝監督コメント

新日鐵・岡泉 淳監督

昨年1-1の内容で負けだった。相手に案原がいるので全員で取りに行こうと決めた。引き分け戦法など考えなかった。増地の場合も「取りに行け」だった。弟・茂は首を抜いて取りに行こうとして消極に取られたもの。ま、結果オーライです。またよろしく。自分は監督2年目だが、専任は初めて。

男子第一部成績表

優勝 新 日 鐵
 準優勝 旭 化 成
 第3位 日本道路公団A
 第3位 日本中央競馬会



【1 回 戦】

ダイコロ 0-3 日本道路公団A
 東芝 0-1 九州電力
 日本道路公団B 1-2 NTT東京

【2 回 戦】

旭化成 2-1 綜合警備保障
 日本道路公団A 5-0 京葉ガス
 日本中央競馬会 3-0 九州電力
 NTT東京 0-5 新日鐵

【準 決 勝】

第1試合

旭化成 ②-1 日本道路公団A
 中村佳央 5段 効果 小齋武士 3段⊙
 ○田辺勝 4段 上四方固 中嶋康博 3段
 ○筧原信一 5段 内股 三谷浩一郎 4段
 窪田茂 3段 —×— 三宮功一 4段
 下出善紀 5段 —×— 田村和也 3段

第2試合

日本中央競馬会 1-② 新日鐵
 賀持道明 4段 —×— 吉田秀彦 4段
 松本昌宏 3段 大内刈 養父直人 5段○
 佐々木伸也 3段 —×— 湊谷知幹 4段
 ⊙大瀧賢司 5段 効果 増地克之 4段
 瀧本誠 2段 効果 岡泉茂 5段⊙

【決 勝】

旭化成 2-③ 新日鐵
 松村浩二 4段 釣込み腰 湊谷知幹 4段○
 下出善紀 5段 合わせ技 養父直人 5段○
 ○筧原信一 5段 支え釣込足 増地克之 4段
 ⊙田辺勝 4段 注意 岡泉茂 5段
 中村佳央 5段 効果 吉田秀彦 4段⊙

優 秀 選 手

〔男子〕

第一部

養父直人

(新日鐵)

田邊勝

(旭化成)

第二部

湊谷知幹

(新日鐵)

小齋武志

(日本道路公団A)

第三部

新名誠

(ダイコロA)

酒井伸哉

(富沢メイトカールン)

〔女子〕

第一部

中市陽子

(ミキハウス)

榎崎教子

(ダイコロ)

第二部

山本好恵

(大阪府警)

佐々味紀

(肥後銀行)

佐野奈津子

(塩谷建設A)

片岡直治

(日柔整請求サービス)

前島延弘

(三菱重工名古屋)

木屋好恵

(ミキハウス)

榎崎教子

(ダイコロ)

中市陽子

(ミキハウス)

榎崎教子

(ダイコロ)

岩本啓一

(ダイコロA)

前島延弘

(三菱重工名古屋)

小林章男

(近畿通関)

酒井伸哉

(富沢メイトカールン)

永井亮平

(新日鐵広畑)

赤松和義

(旭化成A)

中田善久

(セコム)

古田昌直

(セコム)

筧原信一

(旭化成)

赤松和義

(旭化成A)

男子第二部

古田と澤が一本勝ちで 創部7年目セコム 初優勝

先鋒、次鋒戦は両者仲よく「注意」勝ちで分け合った。セコムは中田が攻め勝ち、広畑は永井が大内刈、払腰、内股の猛攻で相手を守勢に追い込んだもの。バランスは中堅戦で崩壊した。両者、左でがっぶり組み合せて攻防、古田の大外刈が「技有」となり、そのまま崩上四方に固めて20秒に達したところで「技有」のブザー。大将戦は開始早々、澤の背負投げがきれいに決まった。

優勝監督コメント

セコム・横田和男監督

社で公認の部はラグビーと柔道だけ。これで私たちがハナが高い。本社だけで1万2000人、グループ入れると2万人の中から80人も応援に来てくれた。同業者も第一部にいますので、これで遅ればせながらセコムも一部の仲間入りできてうれしい。セキユリティーの会社なので365日休むことはないし、夜間の勤務体系が多い。専用道場もなく、各自バラバラに母校などで練習してもらっている。大会直前1週間だけ集まって合同練習するだけ。

【準決勝】

新日鐵広畑 ① - 1 旭化成
近畿通関 2 - ② セコム

【決勝】

新日鐵広畑 1 - 3 セコム
吉岡正人 初段 注意 中田善久 3段 ⊖
⊖ 永井亮平 3段 注意 古賀政己 3段
内藤幸次 3段 合技 古田昌直 3段 ○
長谷川洋紀 3段 —×— 山田宏輝 3段
藤井政徳 3段 背負投 澤幸正 3段 ○



第二部初優勝のセコムチーム

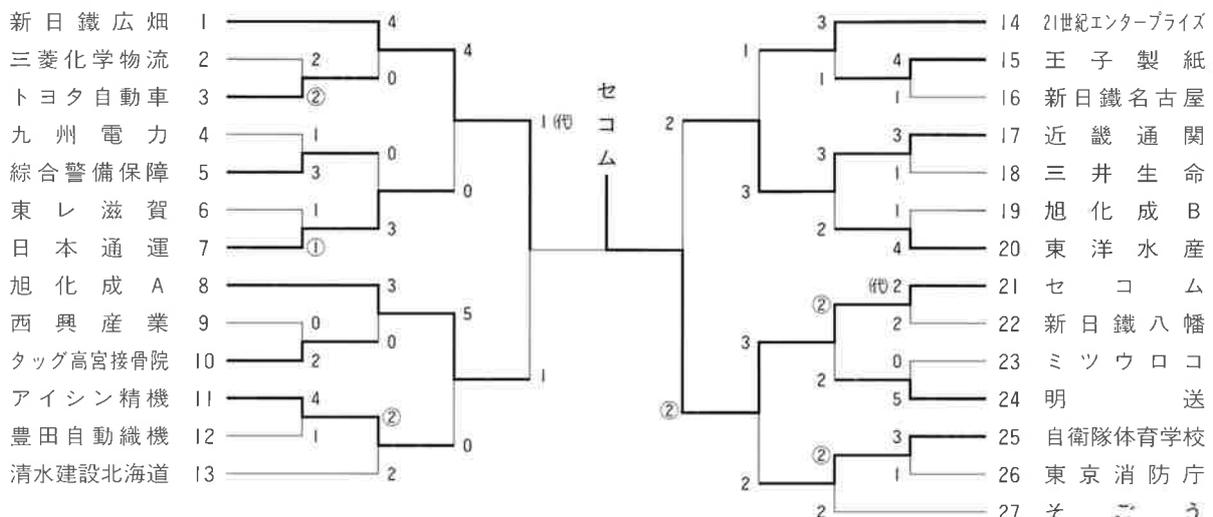


決勝戦 古田と内藤の攻防

男子第二部成績表

優勝 セコム 第3位 旭化成 A
準優勝 新日鐵広畑 第3位 近畿通関

以上の4チームは次年度第一部に昇格する



男子 第三部

ダイコロAが初優勝

ダイコロの先鋒岩本は場外線でもつれたチャンスが逃がさず、見事な十字固めを決めた。これに勢いついて次鋒福井も右大内刈と内股で2つの「有効」を挙げ、2点目。強化選手出身の南條は左大内刈で攻めながら両者「警告」の引き分け。レセプト業務の日柔整請求サービスは副将上釜でようやく載て身小内「技有」で1点返せば、大将ダイコロの新名も「効果」を取られたあと小外刈一本。

優勝監督コメント

ダイコロ・荒牧 勇監督

前の2人が頑張ったので苦戦にならなかった。とは言うものの新名が一本負けでもしたら2-2で内容で危ないところだった。よくやってくれた。皆まとまって勝利を目指した成果と思う。来季は第二部でダイコロ2チームが勝ち進み、第一部に定着させるのが私たちの悲願であり、夢です。



第三部初優勝のダイコロAチーム

【準決勝】

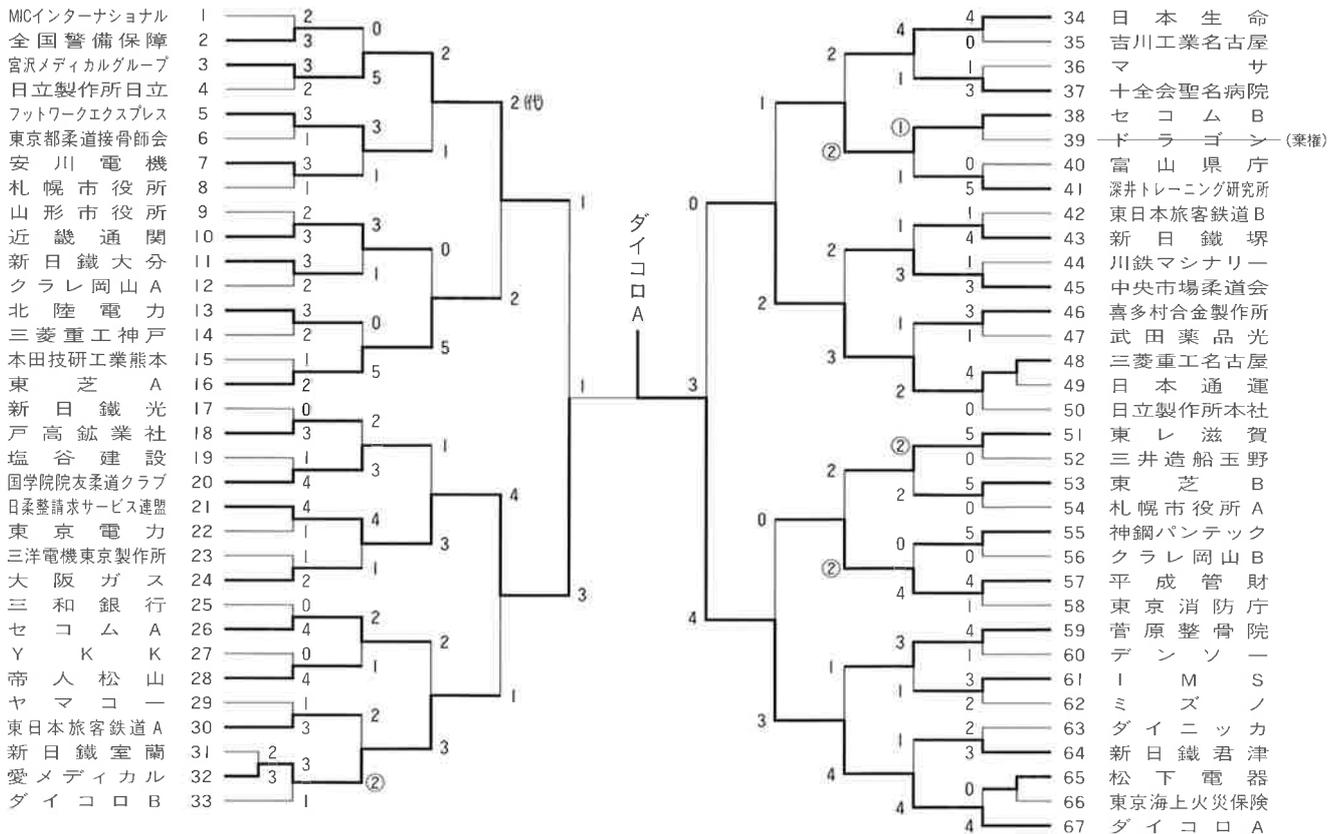
宮沢メディカルグループ 1 - 3 日柔整請求サービス連盟
三菱重工名古屋 0 - 4 ダイコロA

【決勝】

日柔整請求サービス連盟 1 - 3 ダイコロA
桂 剛 5段 十字固 岩本啓一 4段○
長谷川靖二郎 4段 有効 福井宏治 4段⊖
岩尾和宏 2段 —×— 南條充寿 4段
⊕上釜代三 4段 小内刈 橋本和彦 3段
片岡直治 4段 小外刈 新名 誠 3段○

男子第三部成績表

優勝 ダイコロA 第3位 宮沢メディカルグループ
準優勝 日柔整請求サービス 第3位 三菱重工名古屋
以上の4チームは次年度第二部に昇格する



女子第一部

ミキハウス全勝で雪辱 2年ぶり6度目の笑顔

最終戦はミキハウスイコーロ。大阪・八尾市と枚方市、近接職場の紅ライバル。昨年はダイコロの闘志にのまれて4-1と完敗しただけに、今年は新戦力を加えてミキハウスが巻き返しに出る。めったに見られない豪華な国際的先鋒戦(立野-永井)で幕が切つて落とされた。慎重なうちにも一瞬のチャンスを見つけたら、どんな小さなポイントでも取るというフアイトで展開し、火花を散らす結果は引き分け。

このあとアトラントオリンピック52kg銅メダルの榑崎(旧姓菅原)が登場、結婚によってかえって落ち着いた榑崎は得意の大内刈で杉村を追い回し、ついに「技有」の1点をダイコロにもたらす。1-0と劣勢のミキハウスは大将木屋が柳花の背負いを小外掛で返し「有効」から、がっちり横四方固めで抑え、逆転の一本勝ちを決めた。イギリスの在外研究員生活一年の暮しを終え、帰国したばかりの田辺陽子四段(ミキハウス)も飛び上がった大喜び。

優勝監督コメント

ミキハウス・橋本圭史監督

上位4チームは、どこが優勝してもおかしくない。とにかく我々が柔道できるのは社のお蔭で、企業スポーツは優勝できなかったらあかんということを去年ハダで感じた。うちは3月に素晴らしいスポーツスタジアムが完成したばかり。そんな立派な環境ができて弱くなったら何言われるか。

最後のメンバーは私の考えが当たった。村上コーチも含め、全員が大将は調子の良いスーちゃん(鈴木香苗)と思つとつた。確かに負けることはないけど、勝つ可能性では木屋を使いたい。私が少し迷つたら、立野やらだれやら皆で「監督の作戦通りでいい」と言ってくれた。それでした。杉村英子(内側じん帯) 吉田早希(骨折)がケガで大変だった。先鋒戦は仲良しなので、ちから入らんかったと違いますか。



中市の一本背負 見事に決まる

【優勝までの対戦成績】

第1試合

ミキハウス ⑤-0 そごう
 ○立野千代里 3段 内股 笠崎恭子 2段
 ○大森千賀子 2段 横四方固 桑田由香 初段
 ○中市陽子 2段 横四方固 吉野貴代子 初段
 ⊖南千草 2段 払腰 海老名由美 初段
 ○木屋好絵 初段 合技 山下瑠里子 2段

第2試合

ミキハウス ②-1 コマツ
 杉村英子 3段 効果 井上くみ子 2段⊖
 立野千代里 3段 —×— 武田淳子 2段
 ○吉田早希 2段 合技 小取美輪 2段
 ⊖中市陽子 2段 効果 二宮美紀 初段
 鈴木香苗 2段 —×— 二宮美穂 3段

第3試合

ミキハウス ③-1 住友海上
 ⊖立野千代里 3段 効果 茂木仙子 2段
 杉村英子 3段 出足払 真壁友枝 3段⊖
 ○中市陽子 2段 一本背負 角地泰子 2段
 吉田早希 2段 —×— 貝山仁美 初段
 ⊖鈴木香苗 2段 支釣込足 上野雅恵 2段

第4試合

ミキハウス ①-1 ダイコロ
 立野千代里 3段 —×— 永井和恵 3段
 杉村英子 3段 大内刈 榑崎教子 2段⊖
 吉田早希 2段 —×— 植田庸子 2段
 中市陽子 2段 —×— 藤本哲子 2段
 ○木屋好絵 初段 横四方固 柳花美鈴 2段



2年ぶり優勝のミキハウsteam

女子第一部成績表 <リーグ戦>

	住友海上	コマツ	ミキハウス	そごう	ダイコロ	勝 負 ①勝①負①分	順位
住友海上		1-①	1-③	⑤-0	②-1	2勝2敗	3位
コマツ	①-1		1-②	④-0	1-③	2勝2敗	4位
ミキハウス	③-1	②-1		⑤-0	①-1	4勝	優勝
そごう	0-⑤	0-④	0-⑤		0-⑤	4敗	5位
ダイコロ	1-②	③-1	1-①	⑤-0		2勝2敗	2位

女子 第二部

大阪府警が2年ぶり2度目

初日、決勝は17時15分ごろの開始。前年の勝者・塩谷建設Aを代表戦で破った大阪府警と、失点ゼロで勝ち上がった肥後銀行の対戦だ。府警は木山が「効果」2で先取点を挙げると中堅の酒向も右の大内、支釣込足で「有効」を取り、がちり横四方固めで勝負を決めた。こうなると大将山本も小外掛「技有」から抑え込んで20秒経過のベルで合わせ技一本。完勝だった。府警は戦力も次第にアップ、基礎史時代の白石妹、東城を控えに置く余裕を見せた。



2年ぶり優勝の大阪府警チーム

優勝監督コメント

大阪府警・山 喜見男監督

塩谷建設Aがかなり強化できているし、うち、しんどいと思っていた。うちは1人も強化の子いないのに、よくまとまってくれて本当にうれしい。先鋒、次鋒とも体重の少ない子が出て、中堅なんか10kgの差。ま、大将だけは負けないのが入ってきて良かった。準決勝、酒向は締めで負けたが、代表戦で大将が佐野に勝てたわけ。優勝したものの5人揃えられんから一部入りは無理。

【準決勝】

塩谷建設A	1-①	大阪府警
松本貴子 3段	—×—	木山奈央子 2段
○佐野奈津子 2段	腰絞	酒向綾乃 2段
保坂裕子 2段	小内刈	山本 恵 2段○
	(代表戦)	
佐野奈津子 2段		山本 恵 2段○
塩谷建設B	0-①	肥後銀行
滝口美知子 2段	—×—	本田美和子 3段
堀川奈緒 2段	合技	佐々味紀 初段○
松本亜希子 初段	—×—	上野文子 2段

【決勝】

大阪府警	3-0	肥後銀行
○木山奈央子 2段	効果	本田美和子 3段
○酒向綾乃 2段	横四方固	佐々味紀 初段
○山本 恵 2段	合技	上野文子 2段

女子第二部成績表

塩谷建設A	1	3	0	1	優勝 大阪府警
セコム	2	0	0	1	準優勝 肥後銀行
日本生命B	3	0	0	3	第3位 塩谷建設A
西興産業	4	3	0	1	第3位 塩谷建設B
大阪府警	5	3	0	0	
塩谷建設B	6	2	0	0	大阪府警
バッケンモーツアルト	7	2	0	0	
三菱自動車岡崎	8	1	0	0	
日本生命A	9	3	0	0	
フェザー安全剃刃	10	0	0	1	
肥後銀行	11	0	3	0	



木山(右)对本田(左)の対戦

「定時総会」開催される

第37回定時総会は、5月30日(土)9時15分から新神戸オリエンタルホテル・9階舞子の間(神戸市)で開催され、平成10年度事業の「明日へ/神戸 労働大臣杯争奪第48回全日本実業柔道団体対抗大会」はじめ左記の第1号議案から第5号議案まで満場一致で承認された。

- 第1号議案 平成9年度事業報告
- 第2号議案 平成9年度収入支出決算
- 第3号議案 平成10年度事業計画案
- 第4号議案 平成10年度収入支出予算案
- 第5号議案 平成10年度役員改選

なお、定時総会に先立ち理事会が開催され同議案が承認された。

国際ルール審判講習会

審判・強化両面にわたる本格的な国際ルールの講習会が、5月29日午後1時から4時まで新神戸オリエンタルホテル・9階舞子の間で開かれた。主催・全日本実業柔道連盟、後援・(財)大崎企業スポーツ事業研究助成財団によるもので、講師は竹内善

徳(国際柔道連審判委員)、上村春樹(全柔道強化副委員長)、山本裕洋(当連盟競技・審判委員長)の三氏が担当した。昨年10月にパリの国際柔道連盟で承認された改定部分を主に、約90人の参加受講者から熱心な質問が飛び、マット(ビニールシート)を設営したステージでは二人の実技者と講師らが組手や三角からの抑込みの解釈点について、納得いくまで技を展開していた。



実技指導(組手)



実技指導(三角からの抑込み)



熱心に聞き入る受講者



挨拶される大崎企業スポーツ 古賀伸一郎部長

「あとがき」

本大会は、厳しい経済環境の中にもかかわらず、各社のご理解とご支援により、121チームが参加し、オリンピック、世界選手権大会、全日本選手権大会などの優勝者をはじめ多くの精鋭たちによる熱戦が展開された。

特に、男子第一部決勝では、一本で勝つ柔道の素晴らしさ、団体戦の醍醐味である最後の一秒まで勝負の行方が分からない、手に汗握る緊迫した熱戦が展開され、観る人々を魅了し、感動を与えてくれた。

また、大会前日には、審判技術の向上および昨年10月に大幅に改定された国際柔道連盟試合審判規定の徹底を図るべく、講師に国際柔道連盟審判委員の竹内善徳先生をお招きし審判講習会を実施したが、90名以上の参加者が熱心に受講した。

本大会の成功にご支援いただいた神戸市、兵庫県柔道連盟、関係諸団体、各位に深く感謝申し上げます。

岩田久和記

発行日 1998年6月20日
 発行 全日本実業柔道連盟
 発行人 事務局長 岩田久和
 取材協力 ジャーナリスト 宮澤正幸
 印刷 ダイコロ株式会社